鳴鹿まほろば

第36号
（令和4年3月23日発行）

鳴鹿の人口
（令和4年2月28日現在）

世帯数	606戸
人口	1,738人
男	887人
女	851人

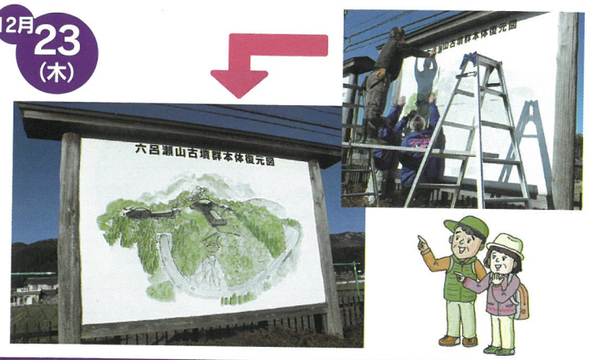
編集・発行　鳴鹿まちづくり推進協議会・えがお発信部会・鳴鹿コミュニティセンター
http://naruka-machikyo.mitelog.jp/
鳴鹿コミュニティセンター　丸岡町上金屋 5-10-12　TEL.66－7452
鳴鹿第二コミュニティセンター　丸岡町新鳴鹿 1-159　TEL.66－1094

海上自衛隊員になりきって敬礼‥2P

復元図リニューアル

12月23日(木)

雪が溶け始めると、歴史に興味のある方々がこの「六呂瀬山古墳群本体復元図」の看板を見て六呂瀬山古墳へ向かう光景を目にします。より一層、見やすくなりましたので、コミセンに設置している案内ＢＯＸのパンフレットと照らし合わせながら散策していただけるといいですね。



AED講習会

(自動体外式除細動器)

2月6日(日)

参加者20名、嶺北消防署4名の指導のもと、ＡＥＤの使い方・心肺蘇生、救命措置を3時間学びました。1時間ごとの換気、多目的ホールで実技の実施等、コロナ対策を取りながらの内容の濃い講習会になりました。

誰もいない畑で心臓発作の人を見つけたら、何が最優先なのか?と消防署員への質問もあり、例年にない緊張感を感じました。

使用する場面に遭遇したら、慌てず勇気を持って、人を助ける強い気持ちを持って積極的に係わろうと思いました。

(委員長　朝倉)

しいたけ駒打ち体験教室

3月5日(土)

今年度から、まち協主催で開催しました。初めて参加された方は話を聞きながら丁寧に、毎年参加されている方々は慣れた手つきで駒打ちをしていました。

令和の鳴鹿まちづくり

部会委員長会議

2月10日(土)

令和4年度に向けて、鳴鹿まち協の部会委員長が集合し話し合いをしました。

先ずは、令和の鳴鹿まちづくり構想で、歴史文化ゾーン、生涯教育ゾーン、地産地消ゾーンを確認し、目標を明確にしました。

令和4年度は現状の4部会を維持するが、少子高齢化による後継者不足から、今後3部会にする必要性を認識しました。

令和4年度役員に向けては、全員が協力し、支えあうことを確認し、若い人の登用を積極的に進め、そして楽しいまちづくりを実施するために「仲間づくり」を進めようと話し合いました。

まち協Info

令和４年度 鳴鹿まちづくり推進協議会総会
４月１３日(水) 予定

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によって、変更する可能性があります。ご了承ください。

いいね！まち協

まち協の事業、活動を紹介します！

ひとりでキャンプ飯を作ってみよう！&モルック体験！

12月26日(土)

夏に計画した「夏休みこども教室」が緊急事態宣言発令で中止となり、今回冬休みの企画として、初めて実施することが出来ました。

小学生約20名が参加し、第一部は、防衛省自衛隊と森山 煌生さん（下久米田区）の協力で災害時に使用されている自衛隊の車（ジープ）で鳴鹿地区を試乗しました。また、陸・海・空軍の制服を着用し記念撮影をしました。

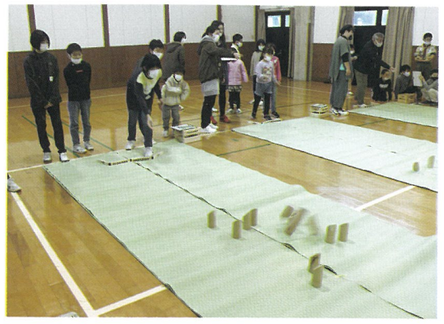
第二部は、福井県キャンプ協会の山田さん指導のもと、避難所での食事を想定し、簡単キャンプ飯に挑戦しました。アルミホイルで巻いたパンを牛乳パックに詰めて、火をつけて燃やす「カートンドッグ」を作りました。また、空き缶で五徳を作り「焼き鳥の缶詰」を温めました。皆で食べる食事は笑顔があふれ、とても楽しそうでした。

最後にゆるモック協会ふくい支部の方々の指導で、フィンランド発祥のスポーツ「※モルック」を体験しました。「第1回鳴鹿モルック大会」が開かれ、接戦の末、嶋田チームが優勝しました。

子供達の笑顔があふれる鳴鹿地区になりますように、これからも地域の絆作りに協力をお願いします。

(委員長　酒井)

※モルック・投げる棒のこと。フィンランド カレリア地方の伝統的なゲームを元に、老若男女が楽しめるものとして考えられたアウトドアスポーツ。下手投げを行うのが基本。



知る見る naruka

✓耳寄り情報
✓地域の話題
どんな事でもお聞かせください

サッカーへの情熱と人間形成

今回は朝倉まち協会長が、高校サッカー福井県代表として全国大会へ出場した、横山 潤成さん（上久米田区 丸岡高校出身）と質問形式で対談していただきました。

ひと嗚

ところで、サッカーをやるきっかけは？

きっかけは特にないです。子供の頃サッカーをしたいと親に駄々こねてお願いしていたと聞きました。今となっては、サッカーをしていて良かったと思っています。

嗚鹿地区のサッカー少年にアドバイスがあればひとこと！

中学、高校、大学、社会人と上を目指してサッカーをするという人は、小学生の今のうちに、基礎練習を嫌がらず、コツコツ頑張って欲しいと思います。例えば、右足と左足の左右どちらも蹴れるように何回もシュート練習をしたり、リフティングの回数の目標を立てて練習したり、マーカーやコーンを置いて、それを相手代わりにしてドリブルの練習をしたりと、地道なことかもしれないけど、上を目指して頑張りたいという強い気持ちを持ってやれば、必ずうまくなれると思います。

12/29 第100回全国高校サッカー　丸岡対阪南大高校

11/7 全国高校サッカー選手権県大会、北陸高校との決勝戦で4年連続優勝

やと

てたこの

最後に、横山君の将来の夢を教えてください。

体育教師です。また、嗚鹿のサッカー少年団のコーチになって、子供たちにサッカーの魅力を伝えたいと思っています。

ありがとうございました。これから、いろんなことがあると思いますが、将来の夢に向かって頑張ってください。

第100回全国高校サッカー選手権に参加してどうだった？

今回は、第100回という節目であり歴史に残る全国大会に出場して、目標にしていたベスト16を超えることはできずに、初戦敗退という結果で終わってしまいました。県内とは違って、全国で勝つことの厳しさ知ることができ、貴重な体験になった3年間、日々のハードな練習を乗り越え、積み上げてきたものを全て出し切ることができて良かったと思っています。

キャプテンとして大変だったことってある？

大変だったことは、チームからの信頼を得ることです。キャプテンを任され当初は、うまくまとめることができずチームがバラバラの状態になっていました。北信越のリーグ戦や練習試合では、なかなか勝つことができず、本当にチームが良くなっていくのか不安がありました。それでも、自分がキャプテンとしてチームのためにできることは何なのかを常に考えていました。練習や試合の始めは、自分が誰よりも先にグラウンド出て準備をしたり、どの部員よりも一番声を出したりと、自分なりに工夫して行動に移しました。こういった行動を起こした事で、チームが自然と自分に付いてきてくれるようになり、いろんな試合で勝つことができるようになりました。

サッカー以外の高校の生活ってどうだった？

僕は、丸岡高校に「サッカーと勉強の両立を頑張る」という目標を立てて入学しました。なので、サッカーだけじゃなく学業も一生懸命励みました。2年次の文理選択では、自ら理系の特進コースを選択しました。毎週末にはテストがあり、部活との両立は大変でしたが、勉強を頑張ったおかげで、自分の志望していた大学に無事合格できたので良かったです。

令和4年　鳴鹿地区区長会役員紹介

1月20日(木)、霞の郷において丸岡地区区長会が開催されました。2月6日(日)の総会にて、令和4年の役員が決まりましたのでお知らせいたします。今年1年どうぞよろしくお願いいたします。

〈役員〉

会長	内川　幸雄
副会長	齋藤　峰雄
〃	山本　光一
監事	大谷　政行
〃	伊東　清美

〈各区区長〉

東二ツ屋	堂下　光幸
上金屋	堂庭　雅夫
楽間	山本　光一
為安	伊東　清美
寄永	朝倉　雅明
友末	吉田　敬司
坪ノ内	橋本　豊文
下久米田上	内川　幸雄
下久米田下	土田　晋也
上久米田	大谷　政行
近庄	中山隆一郎
六呂瀬	笹原　雅朋
金元	藤井　敏雄
新鳴鹿一丁目	齋藤　峰雄
新鳴鹿二丁目	前田　康恵
新鳴鹿三丁目	酒井　明

ごあいさつ

鳴鹿地区区長会会長　内川　幸雄

鳴鹿地区の皆様には、日頃から地区の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、鳴鹿地区の皆様におかれましては健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げますと申し上げたいところですが、新年早々、核兵器や戦争ではなく、恐ろしくて小さな（オ～、ミクロン）目に見えない敵（ウイルス）に翻弄されている姿は、英知を誇る人類の将来を暗示しているような気がします。が、マスク、手洗い、うがいの基本を守ってこの難敵に打ち勝って、明るい未来を取り戻す1年であって欲しいと思います。

昨年と同様に、今年一年も、皆様のご支援とご協力、よろしくお願い申し上げます。

コミセンからのお知らせ

新年度
コミセン講座が
始まります！

詳しくは４月に全戸配布される
「坂井市コミュニティセンター講座」
チラシをご覧ください。

☆初めての太極拳
☆青空野菜塾
★筋力柔軟！健康ヨガ教室（第二）

４月より
●コミセン窓口にて使用料の支払い時に、「ＰａｙＰａｙ」の利用が可能になります。
●インターネットでいつでもコミセンの予約状況を確認することが可能になります。

詳細につきましては、コミセンまでお問合せください。

コミセン講座

ご参加ありがとうございました

そば打ち体験
12月5日

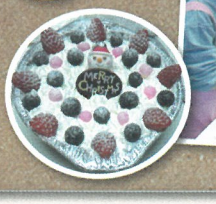
丸岡地区コミセン共催講座
「世界を旅するコミセン講座」
コミセンde旅しよっ！
12月2日

おうちで作ろう！
オヤジ飯「薬膳キーマカレー」
12月14日

フラワー
アレンジメント教室
12月18日

子ども教室

手作り
味噌教室（第二）
2月26日



子ども教室

クリスマスケーキ作り
12月23日

辰川センター長の　春夏秋冬

グリーンセンターの猫の耳（ウッドリームフクイの上に突き出た2本の三角屋根）の間からのぼるお月さんが、1月に「日本百名月」として認定されました。鳴鹿の誇りが一つ増えました。夕焼けも素晴らしいけど、お月さんも大好きです。童話の世界に引きずりこまれるような大きなお月さんを沢山の人に見て頂きたい。

部会委員の　ちょっと聞いての

「真実は人の数だけあるんですよ、でも事実はひとつです」

これは某月9ドラマの主人公の台詞で、最近のお気に入りワードのひとつ。ここでふと、同時に「真実はいつもひとつ！」のとある名探偵坊やを思い浮かべる人は何割くらいいるのかなぁ。

と思う今日このごろ　（Ｏ石）